

調査対象施設一覧表(2024年度)

※「調査対象施設一覧表(2019年度)」を参考の上、新規施設の追加や閉館した施設の削除、指定管理者が変更になった場合など、最新情報に更新してください。

※記入にあたっては別紙「回答記入例および各項目の説明・選択肢」を参照してください。

※貴自治体が出資した地方独立行政法人もしくは出捐した財団法人等が所有する施設も含みます。

整理番号	①施設正式名称 (下枠は愛称) ※地方独立行政法人が所有する施設の場合は愛称の横の枠内に「1」を、財団法人等が所有する場合は「2」と記入してください。	②施設所管部署名	③施設タイプ (いずれかに○)	④本調査対象の施設内容 ※4.練習場・創作工房はアーティスト・イン・レジデンス施設を含む	⑤本調査対象以外の施設内容 ※別紙数字を記入	⑥民間資金活用 ※別紙数字を1つだけ記入	⑦大規模改修予定 ※別紙数字を1つだけ記入	⑧管理運営形態 (いずれかに○)	※指定管理者／コンセッション事業者のみご記入ください。				「施設調査票」回収状況
	⑨指定管理者／ コンセッション事業者名	⑩指定管理団体種別 ※別紙数字を1つ記入	⑪設置団体との関係 ※設置者が出捐等した団体の場合は✓	⑫管理運営期間 (西暦)									

団体名

全国地方公共団体コード(5桁)

		所有法人:	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業実施中も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪: ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人:	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業実施中も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪: ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人:	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業実施中も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪: ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人:	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業実施中も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪: ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人:	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業実施中も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪: ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月

		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月
		所有法人：	単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房			⑦-2 事業 実施 中 も	1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. コンセッション事業者 5. 直営 6. 閉館中		⑪： ⑩その他(具体的に)	20 20	年 年	月 月

※整理番号は新たに1から順に振ってください。
「調査対象施設」一覧表（2019年度）に合わせる必要はありません。

整理番号	①施設正式名称 (下枠は愛称) ※地方独立行政法人が所有する施設の場合は愛称の横の枠内に「1」を、財団法人等が所有する場合は「2」と記入してください。	②施設所管部署名	③施設タイプ (いずれかに○)	④本調査対象の施設内容 ※4.練習場・創作工房はアーティスト・イン・レジデンス施設を含む	⑤本調査対象以外の施設内容 ※別紙数字を記入	⑥民間資金活用 ※別紙数字を1つだけ記入	⑦大規模改修予定 ※別紙数字を1つだけ記入	⑧管理運営形態 (いずれかに○)	※指定管理者／コンセッション事業者のみご記入ください。 ⑨指定管理者／ コンセッション事業者名	⑩設置団体との関係 ※設置者が出捐等した団体の場合は ⑪指定管理団体種別 ※別紙数字を1つ記入	⑫管理運営期間 (西暦)	「施設調査票」回収状況
団体名 ○○○市 全国地方公共団体コード(5桁) 12345												
1	○○○市文化会館 レインボーホール	○○○市教育委員会生涯学習課	●単独 ☐ 複合	☒ 1.専用ホール ☐ 2.その他ホール ☐ 3.美術館 ☐ 4.練習場・創作工房			1 ⑦-2 事業中 閉館中 廃止	☐ 1.指定管理(公募) ☒ 2.指定管理(非公募) ☐ 3.指定管理(PFI事業者等) ☐ 4.コンセッション事業者 ☐ 5.直営 ☐ 6.閉館中	公益財団法人○○○市文化振興財団	2 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	2021年4月 2026年3月	☒
2	○○○市美術館	○○○市教育委員会生涯学習課	●単独 ☐ 複合	☐ 1.専用ホール ☒ 2.その他ホール ☒ 3.美術館 ☐ 4.練習場・創作工房			4 ⑦-2 事業中 閉館中 廃止	☐ 1.指定管理(公募) ☐ 2.指定管理(非公募) ☐ 3.指定管理(PFI事業者等) ☐ 4.コンセッション事業者 ☒ 5.直営 ☐ 6.閉館中		⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	2021年4月 2026年3月	☒
3	○○○市総合体育館		●単独 ☒ 複合	☐ 1.専用ホール ☒ 2.その他ホール			6 ⑦-2 事業中 閉館中 廃止	☒ 1.指定管理(公募) ☐ 2.指定管理(非公募)	○○○市共同事業体	⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	2022年4月	☒

※右端の「調査回収状況」欄は、各施設の調査票の回収状況にご活用いただく欄です。

①施設正式名称	愛称がある場合は下枠内に記載してください。また、地方独立行政法人が所有する施設の場合は愛称の横の枠内に「1」を、財団法人等が所有する場合は「2」とご記入ください。
②施設所管部署名	正式名称をご記入ください。
③施設タイプ	単独施設、複合施設のいずれかをお選びください。 ※ここで言う複合施設とは、館の事業目的を達成するために設けられた中心施設が複数ある施設。ただし民間施設(民間床部分の商業施設、オフィス、住居等)との合築は複合施設に含まず、単独施設とする。
④本調査対象の施設内容	施設内容を本調査対象の次の4種からお選びください。複合施設に該当する場合には、すべてに✓を入れてください。施設内容の定義については、「調査の手引き」の「A：調査対象施設一覧表について」をご覧ください。 1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房（アーティスト・イン・レジデンス施設を含む）
⑤本調査対象以外の施設内容	複合施設の場合、どのような施設との合築かを以下からお選びください。 1. 博物館、資料館等 2. 図書館 3. 公民館、コミュニティセンター、地区センター等の交流施設 4. 生涯学習センター 5. 障害者・高齢者福祉施設 6. 子育て施設 7. 宿泊施設 8. 体育館、アリーナ、スポーツセンター 9. メッセ・展示場、国際会場、コンベンションセンター 10. 観光・賑わい施設 11. 青少年施設 12. 男女共同参画施設 13. 庁舎 14. 公営や公共床部分の賃貸による商業・飲食施設、オフィス等 15. その他
⑥民間資金活用	PFI法に基づいた枠組で建設、もしくは大規模改修した施設は以下の選択肢の中から当てはまる番号を1つだけご記入ください。 1. PFIで建設 2. PFIで大規模改修

⑦大規模改修	以下の選択肢の中から当てはまる番号を1つだけお選びください。 1. 過去5年の間(2018年度以降)に休館を伴う大規模改修を行った 2. 2024年度現在、大規模改修中もしくは改修予定で休館している(再開館予定が未定の施設を含む) 3. 2024年度中、もしくは今年度以降2028年度までに休館を伴う大規模改修を計画・検討している 4. 今後について少なくとも2028年度まで大規模改修は検討していない。
⑦-2 大規模改修中の運営状況	閉館中も当該施設に関連する事業を行っている場合は✓を入れてください。
⑧管理運営形態	直営／指定管理／コンセッションの別です。選択肢の中から当てはまる管理運営形態の種別をお選びください。

—— 直営の場合は、ここで回答は終了です。指定管理者／コンセッション事業者は以下もご回答ください ——

⑨指定管理／コンセッション事業者名	正式名称をご記入ください。
⑩団体種別	指定管理者／コンセッション事業者の団体種別を次の中から1つお選びください。「12.その他」の場合は、具体的にご記入ください。 1. 公共団体・公共的団体 2. 公益財団法人 3. 一般財団法人 4. 公益社団法人 5. 一般社団法人 6. NPO法人 7. 株式会社、有限会社など(営利法人) 8. 任意団体 9. 共同事業体(JV)等のコンソーシアム 10. 有限責任事業組合(LLP) 11. 学校法人(国立大学法人や公立大学法人を含む) 12. その他
⑪設置主体との関係	指定管理者もしくはコンセッション事業者(コンソーシアムの場合は構成団体)が、設置者が出捐等をした団体の場合は✓を入れてください。
⑫管理運営期間	西暦の年月をご記入ください。

※PFI(Private Financial Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)
公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的協力を活用して行う手法のことで、日本では1999年にPFI法が成立し、本格導入された。

※コンセッション(公共施設等運営権)
利用料収入がある公共施設について、その利用料の徴収を含む運営権を、公共団体が民間事業者に期限付きで渡す方式のこと。既存の公共施設についても(新設や大規模改修がなくても)導入可能。2015年にPFI法の改正により導入された。

2024年度 地域の公立文化施設実態調査

地方公共団体 調査票

すべての団体の方にご記入いただきます。

●この調査について

- 1. 本調査は、貴団体の文化政策についてお伺いするものです。
- 2. 特に断りのない限り、設問にはすべて2024年9月1日現在の状況をおこたえください。
- 3. 設問は、記入欄に文字や数字を記入していただくほか、当てはまる選択肢の番号に○や✓をつけるものもあります。「○はひとつだけ」「あてはまるものすべて」「年号は西暦で」等、設問ごとの注意事項に従ってご記入ください。

A. まず、貴団体について、以下の項目をご記入ください。

全国地方公共団体コード(5桁) (別紙「調査対象施設一覧」に記載)						団体名	
本調査ご担当部署名							
回答ご担当者氏名							
連絡先電話番号、FAX番号	TEL:					FAX:	
連絡先メールアドレス						@	

Q1. 文化政策等の現状について伺います。

(1) 貴団体では、文化振興に関する条例(文化振興条例等)を策定していますか。

☐ 1. 策定済みである → (策定している団体へ)
名称をおこたえください。

☐ 2. 策定していない

(2) 貴団体では、「文化芸術基本法」に基づく文化芸術推進基本計画などを策定していますか。

☐ 1. 策定済みである → (策定している団体へ)
名称をおこたえください。

☐ 2. 策定していない

(3) 貴団体では「障害者の文化芸術活動の推進に関する法律」に基づいた基本計画を策定していますか。

※複数の形態で策定している場合は、全てにチェックをお願いします。

- ☐ 1. 単体の計画として策定済みである
☐ 2. 文化芸術推進計画の一部として策定済みである
☐ 3. 障害者基本計画の一部として策定済みである
☐ 4. 策定を計画・検討している
☐ 5. 今のところ策定の予定はない

(策定している団体へ) 名称をおこたえください。

(4) 社会課題に対応するため、行政分野を跨がった施策連携が進んでいます。貴団体では、こうした行政分野を跨がる連携強化を、文化芸術領域を含んで、行っていますか。(○はひとつだけ)

☐ 1. 文化芸術領域を含む連携強化を行っている

↳ SQ1. どの分野と文化芸術分野との連携強化を行っていますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 観光
☐ 2. まちづくり
☐ 3. 多文化共生
☐ 4. 福祉
☐ 5. 教育
☐ 6. 産業
☐ 7. その他(具体的に)

SQ2. 具体的な連携内容をおこたえください。

SQ3. 連携強化のために設立した組織や会議体がありますか(庁内組織を含む)

☐ 1. ある → 名称や連携先の部署や団体等をおこたえください。

☐ 2. ない

☐ 2. 文化芸術領域を含む連携強化を行う具体的な計画がある

☐ 3. 意向・方針はある

☐ 4. 今のところ予定はない

(5) 貴団体では、文化施設について公共施設等総合管理計画の個別計画を策定していますか。

- 1. 策定している ○ 2. 策定していない

SQ1. 個別計画の指針で該当するものがあればおこたえください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 同種の文化施設の集約化（ホールとホール、美術館と美術館等）
- ☐ 2. 異なる分野の文化施設や文化施設以外との複合化（ホールと美術館、図書館と美術館等）
- ☐ 3. 文化施設から他用途施設への転用
- ☐ 4. 施設の廃止
- ☐ 5. 施設の売却
- ☐ 6. 上記の中に該当するものはない

(6) 貴団体が関与しているアーツカウンシル、もしくはアーツカウンシルに準じる組織はありますか。

(○はひとつだけ)

※アーツカウンシルとは、「専門家による助言、審査、事後評価、調査研究等の機能」をもった組織(部署や委員会など、独立していないものを含む)を指します。

- 1. ある → ある場合は、名称、創立年、組織形態（独立組織、財団内組織、審議会など）、活動内容をおこたえください。

- 2. 設立を検討中

- 3. ない

名称		
創立年（西暦）		年
組織形態		
活動内容		

(7) 貴団体が出捐した文化および芸術の振興を目的とする公益財団法人、一般財団法人がありますか。

- 1. ある ○ 2. ない

ある場合は、そのすべての名称を記入し、活動内容および事業内容としてあてはまる番号を選択してください。

A	名称 ----- 	活動内容 (○はひとつだけ)	○ 1. 文化施設管理主体 ○ 2. 文化施設管理と文化事業実施の両方 ○ 3. 文化事業実施主体
	事業領域 (✓はいくつでも)	☐ 1. 文化 ☐ 2. スポーツ ☐ 3. 生涯学習・社会教育 ☐ 4. 青少年 ☐ 5. 観光 ☐ 6. まちづくり、市民活動支援 ☐ 7. その他 []	
B	名称 ----- 	活動内容 (○はひとつだけ)	○ 1. 文化施設管理主体 ○ 2. 文化施設管理と文化事業実施の両方 ○ 3. 文化事業実施主体
	事業領域 (✓はいくつでも)	☐ 1. 文化 ☐ 2. スポーツ ☐ 3. 生涯学習・社会教育 ☐ 4. 青少年 ☐ 5. 観光 ☐ 6. まちづくり、市民活動支援 ☐ 7. その他 []	
C	名称 ----- 	活動内容 (○はひとつだけ)	○ 1. 文化施設管理主体 ○ 2. 文化施設管理と文化事業実施の両方 ○ 3. 文化事業実施主体
	事業領域 (✓はいくつでも)	☐ 1. 文化 ☐ 2. スポーツ ☐ 3. 生涯学習・社会教育 ☐ 4. 青少年 ☐ 5. 観光 ☐ 6. まちづくり、市民活動支援 ☐ 7. その他 []	

※4つ以上の法人がある場合は、お手数ですが、別紙に記入して添付をお願いします。

(8) 貴団体には、文化および芸術の振興に関わる基金がありますか。

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない

ある場合は、そのすべての名称を記入し、基金残高(2023年度決算)をご記入ください。
また、基金を利用した美術品・文化財購入の有無をおこたえください。

A	名称		基本財産額 [] 千円
			基金を使った美術品・文化財購入の有無 ☐ 1. 有 ☐ 2. 無
B	名称		基本財産額 [] 千円
			基金を使った美術品・文化財購入の有無 ☐ 1. 有 ☐ 2. 無
C	名称		基本財産額 [] 千円
			基金を使った美術品・文化財購入の有無 ☐ 1. 有 ☐ 2. 無

※4つ以上の基金がある場合は、お手数ですが別紙に記入して添付をお願いします。

(9) 貴団体には、現在、文化施設の建設計画がありますか。遊休施設活用も含みます。

- ☐ 1. 計画がある ☐ 2. 計画がない

「計画がある」場合は、その施設についておこたえください。

PFIでの施設建設・運営を検討している場合は 下欄に「1」を、
コンセッションを検討している場合は「2」を記入してください。

	施設名(仮称でも結構です)	施設のタイプ(○はひとつだけ)	開館予定年度 (西暦)	1or2
A		☐ 1. 専用ホール ☐ 2. その他ホール ☐ 3. 美術館 ☐ 4. 練習場・創作工房 ☐ 5. それらを含む複合施設	年度	
B		☐ 1. 専用ホール ☐ 2. その他ホール ☐ 3. 美術館 ☐ 4. 練習場・創作工房 ☐ 5. それらを含む複合施設	年度	
C		☐ 1. 専用ホール ☐ 2. その他ホール ☐ 3. 美術館 ☐ 4. 練習場・創作工房 ☐ 5. それらを含む複合施設	年度	

※アーティスト・イン・レジデンス施設は「4. 練習場・創作工房」に含めてください。

※4つ以上の計画がある場合は、お手数ですが、別紙に記入して添付をお願いします。

(10) 貴団体が主催として参画し、地域で展開するアート・プロジェクトがありますか。(○はひとつだけ)
(文化施設を活用していないものも含みます)

- ☐ 1. 現在実施している 名称をおこたえください

☐ 2. 実施していないが計画はある

☐ 3. 今のところ実施中の事業や計画はない

(11) 貴団体では、アーティスト・イン・レジデンス事業を行っていますか。(○はひとつだけ)
(文化施設を活用していないものも含みます)

☐ 1. 現在実施している → 事業名や実施施設名等、具体内容をお知らせください。

--

☐ 2. 実施していないが計画はある

☐ 3. 今のところ実施中の事業や実施計画はない

(12) 貴団体の2023年度決算における文化・芸術経費をお知らせください。ない場合はゼロと記入してください。

①文化・芸術事業費	文化・芸術関連事業に係る経費、文化・芸術団体等に対する補助及び委託経費(実行委員会等への補助を含む)、都道府県の場合は市町村への文化施設建設補助以外の補助など		千円
②文化施設経費	維持管理費、修繕費、委託費など。文化施設で実施する自主文化事業費は、上記①に計上する		千円
③文化施設建設費	準備・設計・土地購入費なども含む		千円

(13) 文化政策を推進するにあたって不足している点や課題をお聞かせください。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 文化政策の基本的な方針やアクションプラン | ☐ 11. 文化施設 |
| ☐ 2. 文化政策を実現するための人材・組織・体制 | ☐ 12. 評価システム |
| ☐ 3. 文化政策の重要性に関する自治体内部の理解 | ☐ 13. 職員の研修機会 |
| ☐ 4. 文化を通じたまちづくりに関する情報や知識 | ☐ 14. 他自治体の文化政策担当部署との交流の機会 |
| ☐ 5. 福祉・教育・観光・産業・国際交流・多文化共生等、文化以外の行政分野との連携 | ☐ 15. 文化と他の行政分野や地域の住民・団体・機関等を結ぶコーディネーターの育成 |
| ☐ 6. 障害者対応、障害者文化芸術振興のあり方 | ☐ 16. その他(具体的に) |
| ☐ 7. 文化財活用のあり方 | |
| ☐ 8. 茶華道・香道・書道・食文化等の生活文化の振興 | |
| ☐ 9. 助成金・補助金を獲得するノウハウ | |
| ☐ 10. クラウドファンディングのノウハウ | |
| | ☐ 17. 不足している点や課題はない |

--

Q2. 新型コロナウイルスの影響について伺います。

(1) 新型コロナウイルスへの対応経験を踏まえ、文化政策、文化施設の運営のあり方、設備、事業内容などについて変更した点がありますか(インターネットを活用した映像・画像配信、キャッシュレス対応、指定管理協約の変更など)。

☐ 1. ある →

具体的な内容をおこたえください

☐ 2. ない

--

Q3. 本調査対象施設以外の参考施設について伺います。

(1) 仮設使用等による文化芸術施設

先にご回答いただいた本調査対象施設以外に、概ね1年以上にわたる仮設使用等も含め、普通財産の使用や行政財産の目的外使用、民間施設の借り上げ等により、本調査対象施設に準じて活用している施設はありますか(例えば、小学校の空き校舎を創作工房として活用する等)。

- 1. ある ○ 2. ない

↓ 下記の要領でご記入ください。4施設以上ある場合は、本紙をコピーするかファイルをダウンロードして追加してください。
①、②、⑦、⑧にそれぞれご記入ください。③～⑥は下記の選択肢の中から選び、あてはまる番号を選択してください。

A	①施設名称 [愛称]	②設置年 (西暦で)	③施設用途 (✓はいくつでも)	④設置形態 (○はひとつだけ)	⑤建物種別 (○はひとつだけ)	⑥文化財 (○はひとつだけ)
			☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3.
	⑦管理運営者の名称(団体名) 直営の場合は所管部署名		⑧設置経緯、活動内容等(具体的に)			
B	①施設名称 [愛称]	②設置年	③施設用途	④設置形態	⑤建物種別	⑥文化財
			☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3.
	⑦管理運営者の名称(団体名) 直営の場合は所管部署名		⑧設置経緯、活動内容等(具体的に)			
C	①施設名称 [愛称]	②設置年	③施設用途	④設置形態	⑤建物種別	⑥文化財
			☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3.
	⑦管理運営者の名称(団体名) 直営の場合は所管部署名		⑧設置経緯、活動内容等(具体的に)			

※上欄に○印(下の選択肢からあてはまる番号を選んで、上の③～⑥の欄の番号を選択してください)

③ 施設用途 (あてはまるものすべて)

1. 舞台芸術の公演等
2. 舞台芸術の練習等
3. 美術作品の展示等
4. 美術作品の創作等
5. 滞在制作等 (アーティスト・イン・レジデンス)
6. その他

④ 設置形態 (○はひとつだけ)

1. 普通財産の使用
2. 行政財産の目的外使用
3. 民間施設の借り上げ、寄託等

⑤ 建物種別 (○はひとつだけ)

1. 空き校舎・空き教室
2. 空き店舗
3. 空き倉庫・空き工場
4. 歴史的建造物
5. 産業遺産
6. その他

⑥ 建物は文化財として指定または登録されているものですか。(○はひとつだけ)

1. 指定文化財
2. 登録文化財
3. いずれでもない

これで本調査における回答項目は終了です。ご協力ありがとうございました。

2024年度 地域の公立文化施設実態調査

施設調査票

本調査対象施設の管理運営者にご記入いただきます。

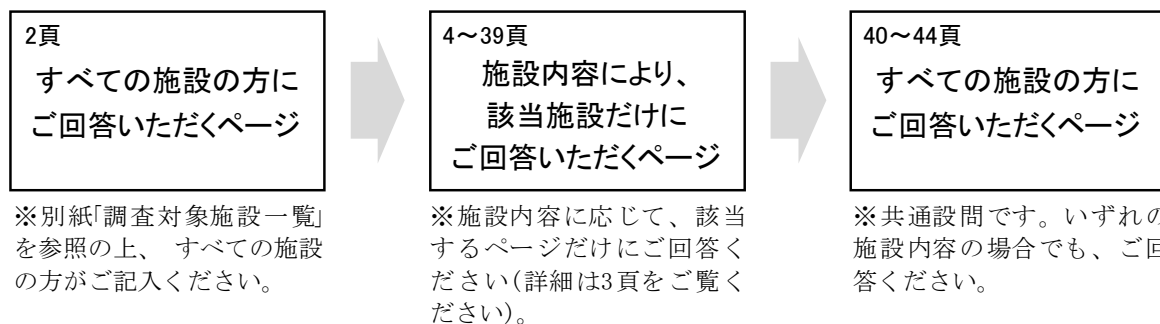
●この調査について

1. 本調査は、「公の施設」である公立文化施設等のうち、次ページに示す施設について、活動状況を中心に伺うものです。
2. 2007、2010、2014、2019年度に実施しました公立文化施設データベースの更新情報としても活用させていただきます。
3. 特に断りのない限り、設問にはすべて2024年9月1日現在の状況をおこたえください。
4. 設問は、記入欄に文字や数字を記入していただくほか、あてはまる選択肢の番号を選ぶものもあります。「○はひとつだけ」「あてはまるものすべて」「年号は西暦で」等、設問ごとの注意事項に従ってご記入ください。

●本調査票について

全44頁ですが、貴施設の内容によって、ご回答いただく部分が異なります。

●本調査票ご回答の手順



●本調査票のご返送について

4～39頁(施設内容により、該当施設だけにご回答いただくページ)のうち、該当しない(無回答の)頁は廃棄してください(返送は不要です)。

A. まず、太線枠内をご記入ください。

施設正式名称			
	愛称:		※ネーミングライツによる場合、 右欄をチェックしてください ☐
地方公共団体名			

B. 次に、ご回答者と貴施設について下欄にご記入ください。

管理運営形態	☐ 1. 指定管理(公募) ☐ 2. 指定管理(非公募) ☐ 3. 指定管理(PFI事業者) ☐ 4. コンセッション事業者 ☐ 5. 直営		
所属機関・団体名			
所属部署・職名		回答者名	
連絡先電話番号・FAX番号	TEL:		FAX:
連絡先メールアドレス			
施設の公式Webサイト	☐ 1. あり URL [] ☐ 2. なし		
施設の住所 (都道府県名は省略)	[〒]		
施設の開館年月(西暦)	[]年 []月		
施設規模	敷地面積		※小数点以下は四捨五入し、整数でお答えください。 ※複合施設は施設全体について回答してください。
	延床面積		

※貴施設が民間施設(商業施設、オフィス、住宅等)との合築の場合、右欄にチェックしてください。 ☐

※貴施設が、PFI/コンセッションで整備された施設の場合、右欄にチェックしてください。 ☐

※貴施設が2023年度に大規模改修により長期休館していた、もしくは新規施設のため年度途中で開館したなどにより通年開館していなかった場合、右欄にチェックしてください。 ☐

※貴施設は、災害時の避難場所として指定されていますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 指定緊急避難場所(災害対策基本法 第49条の4)となっている
- ☐ 指定避難所(災害対策基本法 第49条の7)となっている
- ☐ 一時集合場所(各地方自治体の条例等による)となっている
- ☐ 帰宅困難者向けの一時滞在施設(各地方自治体の条例等による)となっている
- ☐ 法令・条例上の避難場所としては指定されていない

(参考)

本調査対象施設について

「公の施設」(特別区、一部事務組合等が設置した施設を含む)である公立文化施設のうち、「ホール」、「美術館」、「練習場・創作工房」、およびそれらを含む「複合施設」を指す。

■「ホール」とは・・・

舞台および客席や舞台設備等を有し、舞台芸術の公演等を行う施設(*)。「ホール」は、さらに次の2つに区分する。

●専用ホール

コンサートホール、劇場、多目的文化ホール、能楽堂、オペラハウス、映像ホールなど、舞台芸術の公演等を主用途とする施設。

●その他ホール

舞台芸術以外の利用を主用途とする施設(アリーナ、体育館、メッセ、国際会議場、公民館等)で、舞台および客席(可動式を含む)や舞台設備等を有し、現に舞台芸術の公演を行う施設。

*美術館に付属する視聴覚ルーム等の付属施設や、練習場専用施設で公演も行う場合は該当しない。

■「美術館」とは・・・

博物館法の規定に関わりなく、美術作品の展覧会等を行う専用施設(*)。

*収蔵品の有無は問わない。専ら貸し会場としてのみ運営される施設も含むが、ホールに付属する市民ギャラリー等の付属施設は該当しない。

■「練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設を含む)」とは・・・

音楽・演劇等の舞台芸術の練習、または美術の創作を行う専用施設やアーティスト・イン・レジデンス(滞在制作)の専用施設(*)。

*独立した運営となっている施設。ホールに付属する練習室や、美術館に付属する創作工房等の付属施設は該当しない。

■それらを含む「複合施設」とは・・・

上記の「ホール」、「美術館」、「練習場・創作工房」のいずれかが含まれる複合施設(*)。

*複合施設とは、館の事業目的を達成するために設けられた中心施設が複数ある施設を指す。民間施設(商業施設、オフィス、住居等)との合築は「複合施設」に含まず、単独施設とする。

1.専用ホール

「専用ホール」の管理運営者にご記入いただきます。

Q1. 貴ホールの概要について伺います。

- (1) 個別ホールごとの施設概要を伺います。
- ①に個別ホールの名称を、②④に数字を、それぞれご記入いただき、
③については以下の選択肢であてはまるものすべてに✓をおつけください。

1. クラシック音楽	2. オペラ	3. ポピュラー音楽	4. 日本の伝統音楽	5. 演劇	6. ミュージカル
7. ダンス・舞踊	8. 古典芸能	9. 映像	10. 多目的	11. 集会	12. その他

①個別ホールの名称	②客席	③ホールの主目的 (あてはまるものすべて)	④2023年度(前年度)実績			
	最大席数		利用可能 日数	利用日数	自主事業 利用日数	貸し館 利用日数
A		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
B		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
C		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
D		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
E		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日

Q2. ホールの運営体制について伺います。

(1) 貴ホールの館長(責任者)について伺います。

①館長の雇用形態は次のいずれですか。

- ☐ 1. 常勤 ☐ 2. 非常勤

②職種は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 芸術系専門職 ☐ 2. 行政職 ☐ 3. 教育職 ☐ 4. 経営職 ☐ 5. その他

③公募ですか、非公募ですか。

- ☐ 1. 公募 ☐ 2. 非公募

(2) 現在、貴ホールの運営に携わるスタッフ数(館長や管理職、専門職員も含む)を伺います。下記に記載した要領で、職種別、雇用形態別にお知らせください。

※期間限定で特定の事業にのみ従事するスタッフは除きます。

※兼務の場合は、次の要領で按分してください。

- (1) 複合施設など他施設と兼務の場合は、施設ごとの業務量に応じて按分し、ホール運営に携わるスタッフ数を記入。
(例えば、ホールと体育館の複合施設で2施設の総務を兼務するスタッフが1名で業務量が半々なら0.5人とカウント)
- (2) 職種が兼務の場合は、業務量に応じて按分し、職種別の内訳と合計を一致させる。
(例えば、総務と事業を1人が兼務していて業務量が半々の場合は、総務と事業に0.5人ずつカウント)

※非常勤の場合は、次の要領で常勤換算してください。

- (1) パートタイムや非常勤スタッフの場合は、勤務日数・勤務時間から常勤職員の通常勤務(日数・時間)に換算。
常勤換算したおおよその人数を記入。
- (2) 施設管理系スタッフについては、警備・清掃などの委託の人数は含めないでください。
- (3) 舞台技術系スタッフについては、委託の人数を含めてください。

※按分や常勤換算はおおよそで結構です。結果は、小数点以下1位までとしてください。

事業系スタッフ	施設管理系スタッフ	舞台技術系スタッフ	総務系スタッフ	合計
人	人	人	人	人

↓

うち正規職員
人

(3) 貴ホールには、教育普及活動を担当する職員はいますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 専任の職員がいる ☐ 2. 専任ではないが、担当する職員はいる ☐ 3. 担当として決まっている職員はいない
☐ 4. いない

(4) 貴ホールには、文化芸術領域における専門職員として、次の1~3に該当(類似)する人が在任していますか。

在任者がある場合は1~3から選んでください。(あてはまるものすべて)

在任者がいない場合は、4を選んでください。

☐ 1. 芸術監督が在任している

☐ 2. プロデューサーが在任している

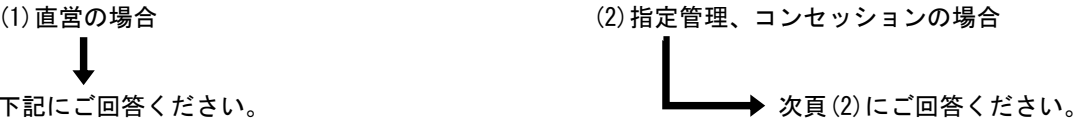
☐ 3. 上記以外の文化芸術領域の専門職員が在任している

→ 専門職員種別ごとに、在任者の氏名を記入し、公募かどうか(1. 公募または2. 非公募)、雇用形態(1. 常勤または2. 非常勤)、館長職との兼務の有無、在任期間についてご記入ください。

	1. 芸術監督 2. プロデューサー 3. その他[具体名称]	氏名	1. 公募 2. 非公募	1. 常勤 2. 非常勤	館長と兼務 の場合、✓	在任期間
A	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. []		☐ 1. ☐ 2.	☐ 1. ☐ 2.	☐	年
B	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. []		☐ 1. ☐ 2.	☐ 1. ☐ 2.	☐	年
C	☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. []		☐ 1. ☐ 2.	☐ 1. ☐ 2.	☐	年

☐ 4. 文化芸術領域の専門職員は在任していない

Q3. ホールの施設運営費について伺います。



(1) 直営施設の施設運営費

貴ホールの運営費について、2023年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、ホール運営に係る運営費をご記入ください。

※支出合計と収入合計の金額が一致するようにしてください。

●収入金額

施設運営費 収入内訳	2023年度決算
一般財源	千円
特定財源	
補助金・助成金	千円
施設使用料・入場料収入等 (*1)	千円
その他	千円
合計	千円

*1 施設使用料等を一般財源とせず、特定財源で施設運営費に充当している場合にご記入ください。

●支出金額

施設運営費 支出内訳	2023年度決算
事業費 (*1)	千円
人件費 (*2)	千円
運営管理費 (*3)	千円
その他 (*4)	千円
合計	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

*2 施設運営費に含まれる人件費があればご記入ください。

*3 施設の運営全般にかかる経費(レセプションист、施設全体の広告宣伝費等)、舞台技術、施設の保守・点検、清掃、警備、光熱水費、備品購入費等。

※委託の場合は委託費を含みます。

*4 事業費・人件費・運営管理費のいずれにも該当しない支出を合算してください。

※運営管理費に、舞台技術系の業務委託による常勤スタッフの委託費は含まれていますか。

☐ 1. 含む

☐ 2. 含まない

千円

前頁Q2(2)でご記入のスタッフ(館長や管理職、専門職含む)のうち、施設運営費に含まれない、地方公共団体職員の人件費があれば、ご記入ください(概算推計で可)。

※複合施設で兼務の場合はQ2(2)のご回答に準じて按分した人数に応じた金額をご記入ください。

※施設運営費に含まれない地方公共団体職員等人件費

千円

(2) 指定管理、コンセッション施設の施設運営費

貴ホールの運営費について、2023年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。
複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、ホール運営に係る運営費をご記入ください。

●収入金額

施設運営費 収入内訳	2023年度決算
◎設置者からの収入	
指定管理料	千円
事業補助金 (*1)	千円
事業受託費 (*2)	千円
その他 (*3)	千円
◎自主財源	
利用料金収入 (*4)	千円
事業収入	千円
設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金	千円
その他	千円
合計	千円

*1 指定管理料以外に設置者からの事業補助金がある場合にご記入ください(指定管理者である文化財団本部に対する事業補助金で当該ホールの事業を実施する場合を含む)

*2 設置者から事業の委託を受け、その費用を指定管理料とは別に事業受託費として受け取っている場合にご記入ください。

*3 事業補助金、事業受託費以外の費目で、指定管理料とは別に設置者から受け取っている収入がある場合にご記入ください。

*4 利用料金制を採っている場合にご記入ください。

※複合施設の場合などで、貴ホール(附属施設を含む)以外の施設運営による収入(自主財源)を貴ホールの施設運営に充当している場合は、その金額も含めて左欄にご記入の上、下欄にチェックしてください。

☐

※指定管理料の内訳が明示されている場合は、下欄にご記入ください。内訳明示がなければ無記入でかまいません。

(コンセッション事業者の場合、受託費等相当する設置団体からの収入をお書きください)

管理運営費	千円
事業費	千円
人件費	千円
その他	千円

●支出金額

施設運営費 支出内訳	2023年度決算
事業費 (*1)	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

※事業費に該当する金額がなく空欄のホールにだけ伺います。その理由として、次のうち最も近いものをお選びください。(○はひとつだけ)

- 1. 当該ホールでは事業を実施していない
- 2. 事業は設置主体が行うので、指定管理者の予算に含まれていない
- 3. その他 []

Q4. 文化芸術ジャンルの自主事業等について伺います。

(1) 貴ホールでは、2023年度に、文化芸術ジャンルの自主事業(ホールの主催事業)、または設置主体からの文化芸術ジャンルの受託事業を実施しましたか。

●直営施設 (1と2両方にあてはまる場合はいずれも選択)

- ☐ 1. 施設の設置主体が直接事業を実施した
- ☐ 2. 自主事業を年間を通じて実施する別団体に設置主体から受託して実施した

団体名	
-----	--

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

- ☐ 3. いずれも実施していない → 13頁のQ5へお進みください。

●指定管理施設 (1、2、3それぞれにあてはまる場合はいずれも選択)

- ☐ 1. 指定管理者、コンセッション事業者が自主事業を実施した
- ☐ 2. 指定管理者、コンセッション事業者以外で当該ホールの自主事業を実施する団体があり、
そこがホールの自主事業を実施した

団体名	
-----	--

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

- ☐ 3. 設置主体からの受託事業を実施した
- ☐ 4. いずれも実施していない → 13頁のQ5へお進みください。

(2) ジャンル別自主事業・受託事業数

2023年度に実施した自主事業および受託事業の件数を、ジャンル別に記入してください。

※ジャンルが多岐にわたる場合は主に当てはまるところに記入し、合計が合うようにしてください。

※該当する事業がない欄は、無記入で空欄のままにしてください。

※落語は古典芸能に含みます。

	1. クラシック 音楽・ オペラ	2. ポピュラー 音楽	3. 日本の 伝統音楽	4. その他 音楽	5. 演劇・ ミュージカル	6. ダンス・ 舞踊	7. 古典 芸能	8. 映画	9. 文化芸術関 連の講座・ 講演会	10. 総合・その 他の文化芸 術ジャンル	合計
自主事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
受託事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件

(3) 文化芸術ジャンルの事業について、次の催しを実施しましたか。 2023年度に自主事業または受託事業で実施したものがあれば選んでください。(ひとつの事業で複数の選択肢に関わる場合、該当するものすべて選択してください)

●特定ジャンルの事業

- | | |
|---|--|
| ☐ 1. 映画、アニメ、ゲーム等の楽曲のオーケストラ演奏 | ☐ 14. コンテンポラリーダンス |
| ☐ 2. オペラ | ☐ 15. 歌舞伎 |
| ☐ 3. オペラの楽曲のコンサート(オペラコンサート) | ☐ 16. 能、薪能 |
| ☐ 4. ジルベスター・コンサート | ☐ 17. 狂言 |
| ☐ 5. 吹奏楽 | ☐ 18. 文楽、人形浄瑠璃 |
| ☐ 6. ジャズ | ☐ 19. 神楽 |
| ☐ 7. ワールドミュージック、エスニック音楽 | ☐ 20. 日本舞踊 |
| ☐ 8. 琴、三味線、津軽三味線 | ☐ 21. 落語 |
| ☐ 9. 創作太鼓 | ☐ 22. お笑いイベント |
| ☐ 10. ミュージカル | ☐ 23. 映画祭、映画上映会 |
| ☐ 11. 演劇 | ☐ 24. アニメや声優の関連イベント |
| ☐ 12. バレエ | ☐ 25. eスポーツ、ゲーム・イベント |
| ☐ 13. ストリートダンス、ヒップホップダンス | ☐ 26. 複数ジャンルのコラボレーション
(音楽×現代美術×ダンス等) |

●市民向け事業

- | | |
|---|--|
| ☐ 27. 市民文化祭、芸術祭 | ☐ 39. レクチャー付きコンサート等の普及型鑑賞公演 |
| ☐ 28. 市民オペラ、市民ミュージカル、市民劇、市民バレエ等の市民参加型の創造事業 | ☐ 40. ホール内で実施する体験型事業(ワークショップ等) |
| ☐ 29. 市民参加型の第九合唱 | ☐ 41. 文化芸術関連の講座・講演会 |
| ☐ 30. 市民オーケストラ | ☐ 42. 市民・子どもの文化クラブ |
| ☐ 31. ジュニアオーケストラ | ☐ 43. 施設全体を使った親子向けフェスティバル |
| ☐ 32. アマチュア演奏家を対象としたクリニック | ☐ 44. 0歳コンサート |
| ☐ 33. アマチュアの演劇フェス | ☐ 45. 在住外国人を対象とした事業 |
| ☐ 34. アマチュアのダンスフェス | ☐ 46. 防災・避難訓練コンサート
(他の文化イベントでの展開を含む) |
| ☐ 35. アマチュアのバンドフェス | ☐ 47. バックステージツアー |
| ☐ 36. 地元アーティストの育成・支援を目的とした事業 | ☐ 48. 市民を対象とした舞台技術講座 |
| ☐ 37. 無料のロビーコンサート | ☐ 49. 市民を対象としたアートマネジメント研修 |
| ☐ 38. ワンコインコンサート(低料金の定期的コンサート) | |

●その他の形態のイベント

- | |
|--|
| ☐ 50. 舞台やコンサートなどの映像上映 |
| ☐ 51. 主催公演のインターネットでの配信 |
| ☐ 52. 地域向けに貴ホールが企画したプロデュース公演 |
| ☐ 53. 全国発信を目的として貴ホールが企画したプロデュース公演 |
| ☐ 54. インバウンド対応の観光文化イベント |

-
- ☐ 55. 上記に挙げる形態の自主事業、委託事業はどれも行ってない

※障害者についての事業、活動については、共通設問(40～44頁)でまとめてお伺いします。

(4) 貴ホールでは、2023年度にアウトリーチ活動(ホール外で実施する、ワークショップ等の体験型事業や、出前型のミニコンサート等)を実施されましたか。(〇はひとつだけ)

- 1. 実施した
○ 2. 実施したいがまだできていない
○ 3. 実施していないし、いまのところ実施の予定はない
- (5) へお進みください。

実施している場合は下記のSQ1～SQ5におこたえください。

SQ1. どのような内容でしたか。(あてはまるものにすべて)

- ☐ 1. クラシック音楽 ☐ 2. 邦楽 ☐ 3. ダンス ☐ 4. 演劇 ☐ 5. 伝統芸能
- ☐ 6. その他(具体的に)

--

SQ2. 2023年度のアウトリーチ実施回数は何回ですか。

[] □

SQ3. アウトリーチの実施先としては主にどのようなものがありますか。(あてはまるものにすべて)

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 地域の幼稚園や保育園 | ☐ 8. 地域の医療施設・病院 |
| ☐ 2. 地域の小学校 | ☐ 9. 児童福祉、子ども子育て施設 |
| ☐ 3. 地域の中学校 | ☐ 10. 地域の公民館や交流センター |
| ☐ 4. 地域の高校・高専 | ☐ 11. 地域の文化施設 |
| ☐ 5. 地域の特別支援学校・特別支援学級 | ☐ 12. 観光施設 |
| ☐ 6. 地域の高齢者施設 | ☐ 13. 商業施設 |
| ☐ 7. 地域の障害者施設 | ☐ 14. 屋外(公園など)やまちかど |
| ☐ 15. その他 [| |

※SQ4. アウトリーチを実施するにあたって、アーティスト登録制度はありますか。

- 1. ある ○2. ない

登録者は何人いますか。 [] 人

登録アーティストへの研修制度はありますか。 [☐ ある ・ ☐ ない]

SQ5. 貴ホールで特徴あるアウトリーチ事業を実施されていたら具体的な内容をお知らせください。

This image shows a completely blank white rectangular area. It is surrounded by a thin, solid black border that forms a frame around the white space. There are no markings, text, or illustrations within the white area.

(5) 貴ホールでは2023年度に次の対象者に向けた取り組みを実施しましたか(アウトリーチ事業は含みません)。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ☐ 1. 乳幼児(0～2歳相当) | ☐ 9. 認知症患者 |
| ☐ 2. 未就学児童(3～5歳相当) | ☐ 10. 視覚障害者 |
| ☐ 3. 小学生 | ☐ 11. 聴覚障害者 |
| ☐ 4. 中学生 | ☐ 12. 肢体不自由者 |
| ☐ 5. 高校生 | ☐ 13. 知的障害者 |
| ☐ 6. 大学/大学院/専門学校生 | ☐ 14. 在住外国人 |
| ☐ 7. 社会人 | ☐ 15. 訪日観光客 |
| ☐ 8. リタイア層・高齢者 | |
| ☐ 16. その他 [|] |
| ☐ 17. 特定対象者向けの事業はやっていない | |

※障害者への取り組みは共通設問(40～44頁)でまとめてお伺いします。

(6) 貴ホールでは、2023年度に貴ホールも参加した「まちなかでの文化イベント」を実施しましたか。

- ☐ 1. 実施した ☐ 2. 実施していない

↓
具体的イベント名称または内容をご記入ください。

(7) 特徴ある自主事業

貴ホールで2023年度に実施した文化芸術ジャンルの自主事業のうち、特徴あるもの・特に成功したと思われるものがあれば、お知らせください。

●特徴ある事業〈A〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈B〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈C〉

事業名	実施時期
内容	

Q5. 貸し館について伺います。

(1) 貴ホールでは、貸し館を実施していますか。

- ☐ 1. している ☐ 2. していない → 下のQ6へお進みください。



(2) 貴ホールにおいて実施しているものがあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 減免制度 ☐ 2. 優先貸出 ☐ 3. 長期使用 ☐ 4. 利用時間延長 ☐ 5. 定期利用

※優先貸出とは、一般の申し込みに先立って優先的に利用予約を受け付ける等の優先を認めること。

※長期使用とは、公演前リハーサル等のために概ね1週間以上の長期にわたって貸し出しを認めること。

※利用時間延長とは、開館時間外の利用を認めること(搬入搬出を含む)。

※定期利用とは、例えば毎週水曜日、毎年6月等のように特定期間の定期利用を認めること。

Q6. 運営等について伺います。

(1) 専属またはフランチャイズの団体、アーティストはありますか。

- ☐ 1. ある → ☐ 2. ない

名称	
----	--

(2) ジュニアオーケストラ、市民ミュージカル劇団、市民オーケストラ、市民合唱団のような育成団体はありますか。

- ☐ 1. ある → ☐ 2. ない

名称	
----	--

(3) 友の会組織はありますか。ある場合は、会員数をお知らせください。

- ☐ 1. ある → 会員数(*) 有料会員 []人
☐ 2. ない 無料会員 []人

*家族会員等の場合も、延べ人数でご記入ください。

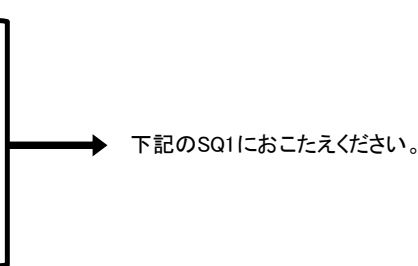
(4) 貴ホールの活動にはボランティアが参加していますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. ボランティア組織があり、 ☐ 2. 恒常的ではないが、 ☐ 3. ない
恒常的に活動している 事業ごとに募る等活動実績がある

(5) 貴ホールでは、「劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房」との連携・協力を継続的に実施していますか。

(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 立地都道府県内のホール・劇場
☐ 2. 立地都道府県外のホール・劇場
☐ 3. 立地都道府県内の美術館
☐ 4. 立地都道府県外の美術館
☐ 5. 立地都道府県内の練習場・創作工房
☐ 6. 立地都道府県外の練習場・創作工房
☐ 7. 他の「劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房」と連携・協力はしていない → (6)にお進みください。



下記のSQ1におこたえください。

(選択肢1～6に回答の方へ)

SQ1. 他の文化芸術施設との継続的な連携の内容で、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

--

(6) 貴ホールでは、「劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房以外の施設・団体等」と地域における文化芸術推進に関する継続的な連携・協力を実施していますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 公民館、生涯学習センター、コミュニティセンター、地区センター等の交流施設
- ☐ 2. 図書館
- ☐ 3. 青少年施設、男女共同参画センター、体育館等
- ☐ 4. 地域のアーティスト、文化活動団体
- ☐ 5. アートNPO等
- ☐ 6. まちづくり、市民協働系のNPO法人や市民活動団体
- ☐ 7. 福祉系の団体・施設
- ☐ 8. 子ども子育て系の団体・施設
- ☐ 9. 大学・専門教育機関
- ☐ 10. 小中高等学校の教職者や活動団体
- ☐ 11. 商店会、商工会、商業施設等
- ☐ 12. 観光協会、観光施設等
- ☐ 13. 地元企業
- ☐ 14. その他(具体的に)

- ☐ 15. 劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房以外の団体・施設等との連携はしていない

————→「専用ホール」の質問は終了です。

(選択肢1～14にご回答の方へ)

SQ1. 他の施設・団体との継続的な連携の内容で、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

「専用ホール」に関する質問は以上で終了です。————→ 貴施設が「2. その他ホール」との複合施設となっている場合は15頁、「3. 美術館」との複合施設となっている場合は22頁、また、「4. 練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設含む)」との複合施設になっている(練習場等が、付帯施設ではなく、独立した施設として別途運営されている)場合は33頁、施設内容が「1. 専用ホール」だけの場合は、40頁へお進みください。

2.その他ホール

「その他ホール」の管理運営者にご記入いただきます。

Q7. 貴ホール（貴施設）の概要について伺います。

(1) 貴ホール（貴施設）の主たる施設内容（*）をお知らせください。（○は最も近いものにひとつだけ）

*「主たる施設内容」とは、館の事業目的を達成するために設けられた中心的な施設のことを指します。

- ☐ 1. 公民館、生涯学習センター、コミュニティセンター等（地域住民のための社会教育施設・交流施設）
- ☐ 2. 国際会議場、各種の会館、センター等（舞台芸術以外を主用途としたホール専用施設・集会施設）
- ☐ 3. メッセ、産業展示場、イベントホール等（平場の大空間を持つ展示場施設）
- ☐ 4. 体育館、アリーナ、各種スポーツ施設
- ☐ 5. その他

(2) 貴施設で、「その他ホール（*1）」に該当する個別ホールの合計数（*2）をご記入ください

[]ホール

*1 「その他ホール」とは、舞台芸術以外での利用が主用途だが、舞台および客席（可動席を含む）を擁し、実際に舞台芸術の公演に利用されているホール施設を指します。舞台芸術の公演を行っていない個別ホールはカウントしないでください。

*2 例えば「大ホール」と「小ホール」がある場合は「2」とご記入ください。

(3) 次に、上の(2)でご回答の個別ホールについて、それぞれ施設概要を伺います。

- ①に個別ホールの名称を、②④に数字を、それぞれご記入いただき、
- ③については以下の選択肢であてはまるものすべてに✓をおつけください。

- | | | | | | |
|------------|---------|------------|------------|--------|-----------|
| 1. クラシック音楽 | 2. オペラ | 3. ポピュラー音楽 | 4. 日本の伝統音楽 | 5. 演劇 | 6. ミュージカル |
| 7. ダンス・舞踊 | 8. 古典芸能 | 9. 映像 | 10. 多目的 | 11. 集会 | 12. その他 |

①個別ホールの名称	②客席	③ホールの主目的 (あてはまるものすべて)	④2023年度(前年度)実績			
	最大席数		利用可能 日数	利用日数	自主事業 利用日数	貸し館 利用日数
A		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
B		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
C		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
D		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日
E		☐ 1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☐ 5. ☐ 6.				
	席	☐ 7. ☐ 8. ☐ 9. ☐ 10. ☐ 11. ☐ 12.	日	日	日	日

Q8. 文化芸術ジャンルの自主事業等について伺います。

- (1) 貴ホールでは、2023年度に、文化芸術ジャンルの自主事業(ホールの主催事業)、または設置主体からの文化芸術ジャンルの受託事業を実施しましたか。

●直営施設 (1と2両方にあてはまる場合はいずれも選択)

- ☐ 1. 施設の設置主体が直接事業を実施した
- ☐ 2. 自主事業を年間を通じて実施する別団体に設置主体から受託して実施した

団体名	
-----	--

*下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

- ☐ 3. いずれも実施していない → 21頁のQ9へお進みください。

●指定管理施設 (1、2、3それぞれにあてはまる場合はいずれも選択)

- ☐ 1. 指定管理者が自主事業を実施した
- ☐ 2. 指定管理者以外で当該ホールの自主事業を実施する団体があり、そこがホールの自主事業を実施した

団体名	
-----	--

*下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

- ☐ 3. 設置主体からの受託事業を実施した
- ☐ 4. いずれも実施していない → 21頁のQ9へお進みください。

(2) ジャンル別自主事業・受託事業数

2023年度に実施した自主事業および受託事業の件数を、ジャンル別に記入してください。

※ジャンルが多岐にわたる場合は主に当てはまるところに記入し、合計が合うようにしてください。

※該当する事業がない欄は、無記入で空欄のままにしてください。

※落語は古典芸能に含みます。

	1. クラシック 音楽・ オペラ	2. ポピュラー 音楽	3. 日本の 伝統音楽	4. その他 音楽	5. 演劇・ ミュージカル	6. ダンス・ 舞踊	7. 古典 芸能	8. 映画	9. 文化芸術関 連の講座・ 講演会	10. 総合・その 他の文化芸 術ジャンル	合計
自主事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
受託事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件

- (3) 上記の(2)でご記入の事業についての経費をお知らせください。

2023年度文化芸術ジャンルの自主事業費 [] 千円

(4) 文化芸術ジャンルの事業について、次の催しを実施しましたか。 2023年度に自主事業または受託事業で実施したものがあれば選んでください。(ひとつの事業で複数の選択肢に関わる場合、該当するものすべて選択してください)

●特定ジャンルの事業

- | | |
|---|--|
| ☐ 1. 映画、アニメ、ゲーム等の楽曲のオーケストラ演奏 | ☐ 14. コンテンポラリーダンス |
| ☐ 2. オペラ | ☐ 15. 歌舞伎 |
| ☐ 3. オペラの楽曲のコンサート(オペラコンサート) | ☐ 16. 能、薪能 |
| ☐ 4. ジルベスター・コンサート | ☐ 17. 狂言 |
| ☐ 5. 吹奏楽 | ☐ 18. 文楽、人形浄瑠璃 |
| ☐ 6. ジャズ | ☐ 19. 神楽 |
| ☐ 7. ワールドミュージック、エスニック音楽 | ☐ 20. 日本舞踊 |
| ☐ 8. 琴、三味線、津軽三味線 | ☐ 21. 落語 |
| ☐ 9. 創作太鼓 | ☐ 22. お笑いイベント |
| ☐ 10. ミュージカル | ☐ 23. 映画祭、映画上映会 |
| ☐ 11. 演劇 | ☐ 24. アニメや声優の関連イベント |
| ☐ 12. バレエ | ☐ 25. eスポーツ、ゲーム・イベント |
| ☐ 13. ストリートダンス、ヒップホップダンス | ☐ 26. 複数ジャンルのコラボレーション
(音楽×現代美術×ダンス等) |

●市民向け事業

- | | |
|---|--|
| ☐ 27. 市民文化祭、芸術祭 | ☐ 39. レクチャー付きコンサート等の普及型鑑賞公演 |
| ☐ 28. 市民オペラ、市民ミュージカル、市民劇、市民バレエ等の市民参加型の創造事業 | ☐ 40. ホール内で実施する体験型事業(ワークショップ等) |
| ☐ 29. 市民参加型の第九合唱 | ☐ 41. 文化芸術関連の講座・講演会 |
| ☐ 30. 市民オーケストラ | ☐ 42. 市民・子どもの文化クラブ |
| ☐ 31. ジュニアオーケストラ | ☐ 43. 施設全体を使った親子向けフェスティバル |
| ☐ 32. アマチュア演奏家を対象としたクリニック | ☐ 44. 0歳コンサート |
| ☐ 33. アマチュアの演劇フェス | ☐ 45. 在住外国人を対象とした事業 |
| ☐ 34. アマチュアのダンスフェス | ☐ 46. 防災・避難訓練コンサート
(他の文化イベントでの展開を含む) |
| ☐ 35. アマチュアのバンドフェス | ☐ 47. バックステージツアー |
| ☐ 36. 地元アーティストの育成・支援を目的とした事業 | ☐ 48. 市民を対象とした舞台技術講座 |
| ☐ 37. 無料のロビーコンサート | ☐ 49. 市民を対象としたアートマネージメント研修 |
| ☐ 38. ワンコインコンサート(低料金の定期的コンサート) | |

●その他の形態のイベント

- ☐ 50. 舞台やコンサートなどの映像上映
- ☐ 51. 主催公演のインターネットでの配信
- ☐ 52. 地域向けに貴ホールが企画したプロデュース公演
- ☐ 53. 全国発信を目的として貴ホールが企画したプロデュース公演
- ☐ 54. インバウンド対応の観光文化イベント

☐ 55. 上記に挙げる形態の自主事業、委託事業はどれも行っていない

※障害者についての事業、活動については、共通設問(40～44頁)でまとめてお伺いします。

(5) 貴ホールでは、2023年度に、アウトリーチ活動(ホール外で実施する、ワークショップ等の体験型事業や、出前型のミニコンサート等)を実施されましたか。(〇はひとつだけ)

- 1. 実施した
○ 2. 実施したいがまだできていない
○ 3. 実施していないし、いまのところ実施の予定はない
- (6)へお進みください。

実施している場合は下記のSQ1～SQ5におこたえください。

SQ1. どのような内容でしたか。(あてはまるものにすべて)

- ☐ 1. クラシック音楽 ☐ 2. 邦楽 ☐ 3. ダンス ☐ 4. 演劇 ☐ 5. 伝統芸能
☐ 6. その他(具体的に)

--

SQ2. 2023年度のアウトリーチ実施回数は何回ですか。

[] 回

SQ3. アウトリーチの実施先としては主にどのようなものがありますか。(あてはまるものにすべて)

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 地域の幼稚園や保育園 | ☐ 8. 地域の医療施設・病院 |
| ☐ 2. 地域の小学校 | ☐ 9. 児童福祉、子ども子育て施設 |
| ☐ 3. 地域の中学校 | ☐ 10. 地域の公民館や交流センター |
| ☐ 4. 地域の高校・高専 | ☐ 11. 地域の文化施設 |
| ☐ 5. 地域の特別支援学校・特別支援学級 | ☐ 12. 観光施設 |
| ☐ 6. 地域の高齢者施設 | ☐ 13. 商業施設 |
| ☐ 7. 地域の障害者施設 | ☐ 14. 屋外(公園など)やまちかど |
| ☐ 15. その他 [| |

※SQ4. アウトリーチを実施するにあたって、アーティスト登録制度はありますか。

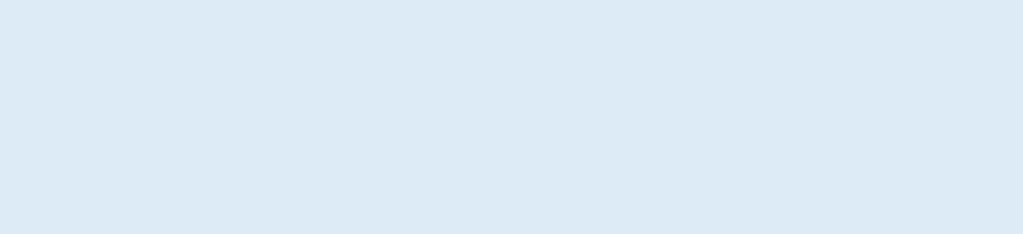
- 1. ある ○ 2. ない



登録者は何人いますか。 [] 人

登録アーティストへの研修制度はありますか。[☐ ある ・ ☐ ない]

SQ5. 貴ホールで特徴あるアウトリーチ事業を実施されていたら具体的な内容をお知らせください。



(6) 貴ホールでは2023年度に次の対象者に向けた取り組みを実施しましたか(アウトリーチ事業は含みません)。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ☐ 1. 乳幼児 (0～2歳相当) | ☐ 9. 認知症患者 |
| ☐ 2. 未就学児童 (3～5歳相当) | ☐ 10. 視覚障害者 |
| ☐ 3. 小学生 | ☐ 11. 聴覚障害者 |
| ☐ 4. 中学生 | ☐ 12. 肢体不自由者 |
| ☐ 5. 高校生 | ☐ 13. 知的障害者 |
| ☐ 6. 大学/大学院/専門学校生 | ☐ 14. 在住外国人 |
| ☐ 7. 社会人 | ☐ 15. 訪日観光客 |
| ☐ 8. リタイア層・高齢者 | |
| ☐ 16. その他 [|] |
| ☐ 17. 特定対象者向けの事業はやっていない | |

※障害者への取り組みは共通設問(40～44頁)でまとめてお伺いします。

(7) 貴ホールでは、2023年度に貴ホールも参加した「まちなかでの文化イベント」を実施しましたか。

- ☐ 1. 実施した ☐ 2. 実施していない

↓
具体的イベント名称または内容をご記入ください。

(8) 特徴ある自主事業

貴ホールで2023年度に実施した文化芸術ジャンルの自主事業のうち、特徴あるもの・特に成功したと思われるものがあれば、お知らせください。

●特徴ある事業〈A〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈B〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈C〉

事業名	実施時期
内容	

Q9. 貸し館について伺います。

(1) 貴ホールでは、貸し館を実施していますか。

- ☐ 1. している ☐ 2. していない ➡ 「その他ホール」の回答は終了です。



(2) 貴ホールにおいて実施しているものがあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 減免制度
☐ 2. 優先貸出
☐ 3. 長期使用
☐ 4. 利用時間延長
☐ 5. 定期利用

※優先貸出とは、一般の申し込みに先立って優先的に利用予約を受け付ける等の優先を認めること。

※長期使用とは、公演前リハーサル等のために概ね1週間以上の長期にわたって貸し出しを認めること。

※利用時間延長とは、開館時間外の利用を認めること(搬入搬出を含む)。

※定期利用とは、例えば毎週水曜日、毎年6月等のように特定期間の定期利用を認めること。

「その他ホール」に関する質問は以上で終了です。 ➡ 貴施設が「3. 美術館」との複合施設となっている場合は22頁、また、「4. 練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設含む)」との複合施設になっている(練習場等が、付帯施設ではなく、独立した施設として別途運営されている)場合は33頁、施設内容が「2. その他ホール」だけの場合は40頁へお進みください。

3.美術館

「美術館」の管理運営者にご記入いただきます。

Q10. 美術館の概要について伺います。

(1) 貴美術館の種別としてあてはまるものを選んでください。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 登録博物館・博物館相当施設
- ☐ 2. 博物館類似施設（収蔵品あり）
- ☐ 3. 収蔵品を持たず、自主事業として展覧会を実施する
- ☐ 4. 収蔵品を持たず、自主事業として展覧会を実施しない

(2) 施設概要について、下記にご記入ください。

展示室数 [] 室

展示室総面積 [] m²

(3) 貴美術館にある付帯施設をお知らせください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 講座室等
- ☐ 2. 創作室等
- ☐ 3. 図書室等
- ☐ 4. 講堂（ホール）
- ☐ 5. 一般向け貸しギャラリー等
- ☐ 6. 映像ホール
- ☐ 7. カフェ・レストラン
- ☐ 8. ミュージアムショップ
- ☐ 9. 託児室・キッズルーム

(4) 開館日数

2023年度の年間開館日数 [] 日

※開館日数とは、365日から休館日、保守点検日、施設改修等で利用できない日を除く日数。

(5) 開館時間

[] 時 [] 分 ～ [] 時 [] 分

※通常時の開館時間をご記入ください。

※例えば午後4時は「16時」と、24時制でご記入ください。

SQ1. 夜間延長は行っていますか。

- ☐ 1. している → [] 時 [] 分まで
- 2023年度 年間 [] 日間
- ☐ 2. していない

Q11. 美術館の運営体制について伺います。

(1) 貴美術館の館長職について伺います。

- ① 館長の雇用形態は次のいずれですか。
- ☐ 1. 常勤
- ☐ 2. 非常勤
- ② 職種は次のいずれですか。(○はひとつだけ)
- ☐ 1. 学芸専門職
- ☐ 2. 研究職
- ☐ 3. 教育職
- ☐ 4. 行政職
- ☐ 5. 経営職
- ☐ 6. その他
- ③ 公募ですか。
- ☐ 1. 公募
- ☐ 2. 非公募

(2) 現在、貴美術館の運営に携わるスタッフ数(館長や管理職も含む)を伺います。

下記の要領で、職種別にお知らせください。

※期間限定で特定の事業にのみ従事するスタッフは除きます。

※兼務の場合は、次の要領で按分してください。

- (1) 複合施設等他施設と兼務の場合は、施設ごとの業務量に応じて按分し、美術館運営に携わるスタッフ数を記入。
(例えば、美術館と図書館の複合施設で2施設の総務を兼務するスタッフが1名で業務量が半々なら0.5人とカウント)
- (2) 職種が兼務の場合は、業務量に応じて按分し、職種別の内訳と合計を一致させる。
(例えば、総務と事業を1人が兼務していて業務量が半々の場合は、総務と事業に0.5人ずつカウント)

※非常勤の場合は、次の要領で常勤換算してください。

- (1) パートタイムや非常勤スタッフの場合は、勤務日数・勤務時間から常勤職員の通常勤務(日数・時間)に換算。
常勤換算したおおよその人数を記入。

※按分や常勤換算はおおよそで結構です。結果は、小数点以下1位までとしてください。

学芸員 (専門職種としての学芸員)	学芸員以外の 事業系スタッフ(*)	施設管理系 スタッフ	総務系 スタッフ	合計
人(うち、有期雇用 [] 人)	人	人	人	人

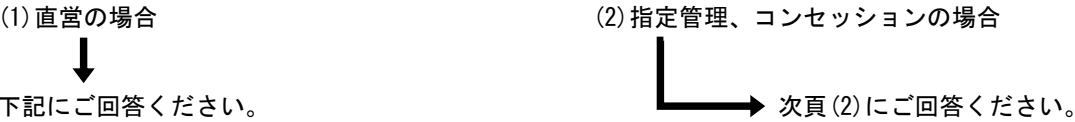
*学芸員以外で、展示や教育普及等の
事業、および広報・営業等を担当する
者

うち正規職員
人

(3) 貴美術館には、教育普及に関する専門セクションはありますか、また専門担当者はいますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 教育普及の専門セクションがある
- ☐ 2. 教育普及の専門セクションはないが専門の担当者がいる
- ☐ 3. 専門の担当者はいないが学芸員が兼務している
- ☐ 4. 教育普及は実施していない
- ☐ 5. その他 []

Q12. 美術館の施設運営費について伺います。



(1) 直営施設の施設運営費

貴美術館の運営費について、2023年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、美術館運営に係る運営費をご記入ください。

※支出合計と収入合計の金額が一致するようにしてください。

●収入金額

施設運営費 収入内訳	2023年度決算
一般財源	千円
特定財源	
補助金・助成金	千円
施設使用料・入場料収入等(*1)	千円
その他	千円
合計	千円

*1 施設使用料等を一般財源とせず、特定財源で施設運営費に充当している場合にご記入ください。

●支出金額

施設運営費 支出内訳	2023年度決算
事業費(*1)	千円
人件費(*2)	千円
運営管理費(*3)	千円
その他(*4)	千円
合計	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

*2 施設運営費に含まれる人件費があればご記入ください。

*3 施設の運営全般にかかる経費(レセプションист、施設全体の広告宣伝費等)、舞台技術、施設の保守・点検、清掃、警備、光熱水費、備品購入費等。

※委託の場合は委託費を含みます。

*4 事業費・人件費・運営管理費のいずれにも該当しない支出を合算してください。

前頁Q11(2)でご記入のスタッフ(館長や管理職、専門職含む)のうち、施設運営費に含まれない、地方公共団体職員の人件費があればご記入ください(概算推計で可)。

※複合施設で兼務の場合はQ11(2)のご回答に準じて按分した人数に応じた金額をご記入ください。

※施設運営費に含まれない地方公共団体職員等人件費

千円

(2) 指定管理、コンセッション施設の施設運営費

貴美術館の運営費について、2023年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。
複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、美術館運営に係る運営費をご記入ください。

●収入金額

施設運営費 収入内訳	2023年度決算
◎設置者からの収入	
指定管理料	千円
事業補助金 (*1)	千円
事業受託費 (*2)	千円
その他 (*3)	千円
◎自主財源	
利用料金収入 (*4)	千円
事業収入	千円
設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金	千円
その他	千円
合計	千円

*1 指定管理料以外に設置者からの事業補助金がある場合にご記入ください(指定管理者である文化財団本部に対する事業補助金で当該美術館の事業を実施する場合を含む)

*2 設置者から事業の委託を受け、その費用を指定管理料とは別に事業受託費として受け取っている場合にご記入ください。

*3 事業補助金、事業受託費以外の費目で、指定管理料とは別に設置者から受け取っている収入がある場合にご記入ください。

*4 利用料金制を採っている場合にご記入ください。

※複合施設の場合などで、貴美術館(附属施設を含む)以外の施設運営による収入(自主財源)を貴美術館の施設運営に充当している場合は、その金額も含めて左欄にご記入の上、下欄にチェックしてください。

☐

※指定管理料の内訳が明示されている場合は、下欄にご記入ください。内訳明示がなければ無記入でかまいません。
(コンセッション事業者の場合、受託費等相当する設置団体からの収入をお書きください)

管理運営費	千円
事業費	千円
人件費	千円
その他	千円

●支出金額

施設運営費 支出内訳	2023年度決算
事業費 (*1)	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

※事業費に該当する金額がなく空欄の美術館にだけ伺います。その理由として、次のうち最も近いものをお選びください。(○はひとつだけ)

1. 当該美術館では事業を実施していない
2. 事業は設置主体が行うので、指定管理者の予算に含まれていない
3. その他 []

Q13. 美術館の学芸業務について伺います。

(1) 貴美術館における自主事業(展覧会や教育普及等)の担い手は次のどれに該当しますか。(○はひとつだけ)

- 1. 施設の管理運営者が自主事業も担っている
- 2. 施設の管理運営者とは別

SQ1. 事業の担い手は設置主体ですか。それ以外ですか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 設置主体
- ☐ 2. 1. 以外 [名称:]

*下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

3. 自主事業は実施していない → 30頁のQ14へお進みください。

(2) 貴美術館では、2023年度に、自主事業(美術館の主催事業)による展覧会、
または設置主体からの受託事業による展覧会を実施しましたか。(○はひとつだけ)

施設の管理運営者が事業も担っている場合、Q12の(1)または(2)にご記入の事業費で実施したものについてお答えください。
展覧会には、設置主体からの事業補助金により、指定管理者である文化財団等の本部が実施したものを含みます。

- ☐ 1. 常設展と企画展の両方を実施
- ☐ 2. 企画展のみ実施
- ☐ 3. 常設展のみ実施 → 3を回答した方はSQ4もおこたえください。
- ☐ 4. いずれも実施していない

↓ 1を回答した方はSQ1～SQ4に、2を回答した方はSQ1～SQ3におこたえください。

企画展を実施した美術館に伺います。

SQ1. 2023年度に実施した企画展の形態を次の中から選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 美術館の自主企画による展覧会
- ☐ 2. 企画展として実施している収蔵品展
- ☐ 3. 他の美術館との共同企画による展覧会
- ☐ 4. 新聞社等の主催による巡回展
- ☐ 5. 企画会社等の持込による展覧会
- ☐ 6. その他(具体的に)

SQ2. 2023年度に次のテーマの企画展を実施しましたか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 子ども(親子)を対象とした普及型企画展
- ☐ 2. 市民(子ども含む)キュレーターによる企画展
- ☐ 3. アール・ブリュット、アウトサイダー・アート、エイブル・アート等をテーマにした企画展
- ☐ 4. 有形・無形の文化財をテーマにした企画展
- ☐ 5. 地域のアーティストが主に出品する企画展
- ☐ 6. 地域文化や産業をテーマにした企画展
- ☐ 7. マンガ、アニメ、ゲーム等をテーマにした企画展
- ☐ 8. 触る美術展
- ☐ 9. 大規模な国際展(ピエンナーレ、トリエンナーレ含む) →
- ☐ 10. 上に挙げる企画展は実施していない

※共催、実行委員会参加も含む(ただし、美術館の事業費に関わらないものは除く)

名称

SQ3. 2023年度に実施した企画展の件数、日数、入場者数をご記入ください。

企画展件数 [] 件 企画展日数 [] 日 企画展総入場者数 [] 人

常設展を実施している美術館に伺います。

SQ4. 常設展は有料ですか、無料ですか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 有料
- ☐ 2. 一部有料で一部無料
- ☐ 3. 無料

(3) 貴美術館では2023年度に、展覧会以外に次のような事業を実施しましたか。

展覧会に関連して開催したものも含めて、実施した事業を選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 学芸員や専門家等によるギャラリートーク
- ☐ 2. 学芸員・ボランティアによる対話型鑑賞
- ☐ 3. 講演会
- ☐ 4. 学校向け団体鑑賞
- ☐ 5. 教職員向け研修
- ☐ 6. 学芸員による出前授業（出前のワークショップを含む）
- ☐ 7. アーティストによる出前授業（出前のワークショップを含む）
- ☐ 8. 移動美術展
- ☐ 9. 鑑賞支援教材の作成
- ☐ 10. (館内での)ワークショップ
- ☐ 11. 実技講座
- ☐ 12. 映像上映（美術作品としての映像展示はのぞく）
- ☐ 13. 他ジャンルのイベント（音楽、演劇、ダンス等）
- ☐ 14. バックヤードツアー等
- ☐ 15. 滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス）
- ☐ 16. 公開制作
- ☐ 17. 地域と関わって展開するアートプロジェクト(美術館外含む) ※具体的イベント名称もしくは内容をご記入ください

- ☐ 18. インターネット公開用VRミュージアムの作成
- ☐ 19. 学芸員等の解説付き展示のインターネット配信
- ☐ 20. その他(具体的に)

- ☐ 21. いずれも実施していない

※障害者への取り組みは共通設問(40～44頁)で詳しくおこたえいただきます。

(4) 特徴ある自主事業

貴美術館で2023年度に実施した事業のうち、特徴あるもの・特に成功したと思われるものがあれば、お知らせください。

●特徴ある事業〈A〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈B〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈C〉

事業名	実施時期
内容	

(5) 貴美術館では、鑑賞者による美術品の写真撮影についてどのような対応をしていますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 全面的に禁止している → (6)にお進みください。
- ☐ 2. 一部認めている → 下記のSQ1におこたえください。
- ☐ 3. 全面的に許可している

(選択肢2回答の方へ)

SQ1. どのような場合に写真撮影を認めていますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 展覧会・作品ごとに対応を検討している
- ☐ 2. 自館の収蔵品のみ認めている
- ☐ 3. 常設展示室のみ認めている
- ☐ 4. その他(具体的に)

(6) 貴美術館では、日本語以外での美術館の施設案内、解説掲示もしくは音声ガイドやICT機器によるガイドを行っていますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 行っている ☐ 2. 現在検討中だが、まだ行っていない ☐ 3. 行っていない → Q14にお進みください。

↓ 下記SQ1～SQ3におこたえください。

SQ1. 多言語での対応を行っているものを教えてください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 美術館の施設案内 ☐ 4. 美術館の自主企画や収蔵品を活用した企画展
- ☐ 2. 常設の目玉展示物 ☐ 5. 新聞社等の巡回展や企画会社持ち込みによる企画展
- ☐ 3. 常設展 ☐ 6. その他(具体的に)

SQ2. 対応言語を教えてください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 英語 ☐ 2. 韓国語 ☐ 3. 中国語(簡体字、繁体字)
- ☐ 4. フランス語 ☐ 5. ドイツ語 ☐ 6. スペイン語
- ☐ 7. その他の言語

SQ3. 多言語化の手法を教えてください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 壁面等に掲示してある解説板に掲出
- ☐ 2. 多言語の音声ガイド
- ☐ 3. スマートフォンで利用できる多言語ガイド(音声含む)
- ☐ 4. デジタルサイネージ
- ☐ 5. 多言語のパンフレットやリーフレットの用意
- ☐ 6. その他(具体的に)

Q14. 収蔵品の概要を伺います。

(1) 貴美術館には、収蔵品がありますか。

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない → 31頁のQ15へお進みください。

(2) 収蔵品点数をご記入ください(作品以外の美術館資料を除く)。

作品数 [] 点 うち、寄託作品 [] 点

(3) 貴美術館には、コミッションワーク(*)がありますか。

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない

※貴美術館の特定の空間での展示のために委託制作された美術品のこと。

(4) 収蔵品のデジタル・アーカイブ化の状況についておたえください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|---|-----|---|
| ☐ 1. 収蔵品の静止画画像をアーカイブ化している | } → | SQ1. 現状の進展度合いをおたえください。(○はひとつだけ) |
| ☐ 2. 収蔵品の3Dデータをアーカイブ化している | | ☐ 1. 全て／ほぼ全てデジタル化済みである |
| ☐ 3. 展覧会の3Dデータをアーカイブ化している | | ☐ 2. 一定程度デジタル化が進展しつつある |
| ☐ 4. 収蔵品のデジタル・アーカイブ化はまだ行っていない | | ☐ 3. まだ開始したばかりであり進んでいない |

(5) 新規収蔵品について伺います。2019年度～2023年度の間に新規収蔵品(購入・寄贈・寄託)はありましたか。

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない

↓

└─┐	SQ1. 2019年度～2023年度までの購入合計点数	[] 点
	SQ2. 2019年度～2023年度までの寄贈合計点数	[] 点
	SQ3. 2019年度～2023年度までの寄託合計点数	[] 点

(6) 作品の収集に関して貴美術館として定めている収集方針や特徴あるコレクションはありますか。

- ☐ 1. ある ☐ 2. ない

↓ (具体的に)

(7) 貴美術館の収蔵品の展覧会以外での公開状況をお知らせください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. Webサイトに収蔵品の画像付きデータベースを公開している
- ☐ 2. Webサイトに収蔵品リスト(文字データのみ)を公開している
- ☐ 3. 収蔵品のハイライトを紹介するコンテンツを作成し、ウェブサイトで公開している
- ☐ 4. 収蔵品を紹介する図録、ガイドブック等を作成し、販売している
- ☐ 5. 収蔵品を紹介するDVD、ブルーレイを作成し、販売している
- ☐ 6. Googleアートプロジェクト等の収蔵品を公開するインターネット上のプロジェクトに参加している
- ☐ 7. その他(具体的に)

- ☐ 8. 上記のような収蔵品の公開は行っていない

Q15. 美術館の運営等について伺います。

(1) 貴美術館には友の会組織がありますか。ある場合は、会員数をお知らせください。

- ☐ 1. ある → 会員数(*) 有料会員 []人
- ☐ 2. ない 無料会員 []人

*家族会員等の場合も、延べ人数でご記入ください。

(2) 貴美術館の活動にはボランティアや市民サポーターが参加していますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. ボランティアや市民サポーター組織があり、恒常的に活動している
- ☐ 2. 恒常的ではないが、事業ごとに募る等、活動実績がある
- ☐ 3. ない

(3) 貴美術館では、「劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房」との連携・協力を継続的に実施していますか。

(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 立地都道府県内のホール・劇場
- ☐ 2. 立地都道府県外のホール・劇場
- ☐ 3. 立地都道府県内の美術館
- ☐ 4. 立地都道府県外の美術館
- ☐ 5. 立地都道府県内の練習場・創作工房
- ☐ 6. 立地都道府県外の練習場・創作工房
- ☐ 7. 他の「劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房」と連携・協力はしていない → (4)にお進みください。

下記のSQ1におこたえください。

(選択肢1～6にご回答の方へ)

SQ1. 他の文化施設・団体との継続的な連携の内容で、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

(4) 貴美術館では、「劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房以外の施設・団体等」と地域における文化芸術推進に関する継続的な連携・協力を実施していますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 公民館、生涯学習センター、コミュニティセンター、地区センター等の交流施設
- ☐ 2. 図書館
- ☐ 3. 青少年施設、男女共同参画センター、体育館等
- ☐ 4. 地域のアーティスト、文化活動団体
- ☐ 5. アートNPO等
- ☐ 6. まちづくり、市民協働系のNPO法人や市民活動団体
- ☐ 7. 福祉系の団体・施設
- ☐ 8. 子ども子育て系の団体・施設
- ☐ 9. 大学・専門教育機関
- ☐ 10. 小中高等学校の教職者や活動団体
- ☐ 11. 商店会、商工会、商業施設等
- ☐ 12. 観光協会、観光施設等
- ☐ 13. 地元企業
- ☐ 14. その他(具体的に)

- ☐ 15. 劇場・ホール、美術館、練習場・創作工房以外の団体・施設等との ➡ 「美術館」の質問は終了です。
連携はしていない

(選択肢1～14にご回答の方へ)

SQ1. 他の施設・団体との継続的な連携の内容で、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

「美術館」に関する質問は以上で終了です。 ➡ 貴施設が、「4. 練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設含む)」との複合施設になっている(練習場等が、付帯施設ではなく、独立した施設として別途運営されている)場合は33頁、そうでない場合は40頁へお進みください。

4. 練習場・創作工房

(アーティスト・イン・レジデンス
施設を含む)

練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の
管理運営者にご記入いただきます。

Q16. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の施設概要について伺います。

(1) 施設内容と室数

施設の内容(A～E)ごとに、貴施設における有無をお知らせください。ある場合は、室数、もしくは、対応人数をご記入ください。

A. 演劇・舞踊	B. 音楽スタジオ	C. 創作工房	D. 展示施設
☐ 1. あり []室	☐ 1. あり []室	☐ 1. あり []室	☐ 1. あり []室
☐ 2. なし	☐ 2. なし	☐ 2. なし	☐ 2. なし

E. レジデンス施設
☐ 1. あり ☐ 2. なし  []人対応
SQ1. レジデンス施設は敷地内にありますか。(○はひとつだけ)
☐ 1. 敷地内にある ☐ 2. 敷地外にある ☐ 3. 両方にある

(2) 貴施設にある付帯施設をお知らせください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. ホール
 - ☐ 2. ギャラリー
 - ☐ 3. 大道具室・楽器庫・倉庫
 - ☐ 4. 工房(*) *大道具・小道具、衣装等を作るための専用スペース。
 - ☐ 5. 会議室・多目的ルーム
 - ☐ 6. 資料室・図書室

(3) 開館日数、利用日数（宿泊利用はのぞく）

2023年度の年間開館日数 []日

利用日数 []日

※開館日数とは、365日から休館日、保守点検日、施設改修等で利用できない日を除く日数。
※利用日数とは、全日利用に限らず、利用のあった日数。

(4) 開館時間（宿泊利用はのぞく）

[]時 []分 ～ []時 []分

※最長の時間をご記入ください

※例えば午後4時は「16時」と、24時制でご記入ください。

Q18. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の施設運営費について伺います。

(1) 直営の場合



下記にご回答ください。

(2) 指定管理、コンセッションの場合



次頁(2)にご回答ください。

(1) 直営施設の施設運営費

貴施設の運営費について、2023年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、美術館運営に係る運営費をご記入ください。

※支出合計と収入合計の金額が一致するようにしてください。

●収入金額

施設運営費 収入内訳	2023年度決算
一般財源	千円
特定財源	
補助金・助成金	千円
施設使用料・入場料収入等(*1)	千円
その他	千円
合計	千円

*1 施設使用料等を一般財源とせず、特定財源で施設運営費に充当している場合にご記入ください。

●支出金額

施設運営費 支出内訳	2023年度決算
事業費(*1)	千円
人件費(*2)	千円
運営管理費(*3)	千円
その他(*4)	千円
合計	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

*2 施設運営費に含まれる人件費があればご記入ください。

*3 施設の運営全般にかかる経費(レセプション、施設全体の広告宣伝費等)、舞台技術、施設の保守・点検、清掃、警備、光熱水費、備品購入費等。

※委託の場合は委託費を含みます。

*4 事業費・人件費・運営管理費のいずれにも該当しない支出を合算してください。

前頁Q17(2)でご記入のスタッフ(館長や管理職も含む)のうち、施設運営費に含まれない、地方公共団体職員の人件費があればご記入ください(概算推計で可)。
※複合施設で兼務の場合はQ17(2)のご回答に準じて按分した人数に応じた金額をご記入ください。

※施設運営費に含まれない地方公共団体職員等人件費

	千円
--	----

(2) 指定管理、コンセッション施設の施設運営費

貴施設の運営費について、2023年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、施設運営に係る運営費をご記入ください。

●収入金額

施設運営費 収入内訳	2023年度決算
◎設置者からの収入	
指定管理料	千円
事業補助金 (*1)	千円
事業受託費 (*2)	千円
その他 (*3)	千円
◎自主財源	
利用料金収入 (*4)	千円
事業収入	千円
設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金	千円
その他	千円
合計	千円

*1 指定管理料以外に設置者からの事業補助金がある場合にご記入ください(指定管理者である文化財団本部に対する事業補助金で当該施設の事業を実施する場合を含む)

*2 設置者から事業の委託を受け、その費用を指定管理料とは別に事業受託費として受け取っている場合にご記入ください。

*3 事業補助金、事業受託費以外の費目で、指定管理料とは別に設置者から受け取っている収入がある場合にご記入ください。

*4 利用料金制を採っている場合にご記入ください。

※複合施設の場合などで、貴美術館(附属施設を含む)以外の施設運営による収入(自主財源)を貴美術館の施設運営に充当している場合は、その金額も含めて左欄にご記入の上、下欄にチェックしてください。

☐

※指定管理料の内訳が明示されている場合は、下欄にご記入ください。内訳明示がなければ無記入でかまいません。

(コンセッション事業者の場合、受託費等相当する設置団体からの収入をお書きください)

管理運営費	千円
事業費	千円
人件費	千円
その他	千円

●支出金額

施設運営費 支出内訳	2023年度決算
事業費 (*1)	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

※事業費に該当する金額がなく空欄の美術館にだけ伺います。その理由として、次のうち最も近いものをお選びください。(○はひとつだけ)

- 1. 当該美術館では事業を実施していない
- 2. 事業は設置主体が行うので、指定管理者の予算に含まれていない
- 3. その他 []

Q19. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の運営について伺います。

(1) 貴施設では一般への施設貸出を行っていますか。

- ☐ 1. 行っている ☐ 2. 行っていない → (2)にお進みください。



SQ1. 利用規約について、貴施設において実施しているものがあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 減免制度 ☐ 2. 優先貸出 ☐ 3. 長期使用 ☐ 4. 利用時間延長 ☐ 5. 定期利用

※優先貸出とは、一般の申し込みに先立って優先的に利用予約を受け付ける等の優先を認めること。

※長期使用とは、長期の創作やリハーサル等のために概ね1週間以上の長期にわたって貸し出しを認めること。

※利用時間延長とは、開館時間外の利用を認めること（搬入搬出を含む）。

※定期利用とは、例えば毎週水曜日、毎年6月等のように特定期間の定期利用を認めること。

(2) 貴施設はアーティスト・イン・レジデンス施設として運営していますか。

- ☐ 1. している ☐ 2. していない → Q20にお進みください。



SQ1. アーティスト・イン・レジデンスの対象ジャンルを選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 舞台芸術系
☐ 2. 美術系
☐ 3. その他 []

SQ2. 貴施設での2023年度の受入人数は何人でしたか。

[]人

SQ3. 貴施設では、レジデンスを利用するアーティストを公募していますか。(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 全て公募
☐ 2. 公募と招聘
☐ 3. 全て招聘

SQ4. 貴施設では、アーティストに対してどのような支援をしていますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 施設の提供のみ
☐ 2. 渡航費・制作費・滞在費の助成
☐ 3. 制作活動への人的な支援
☐ 4. その他（具体的に）

SQ5. 下記の中で作品制作や滞在中の地域での活動に関してレジデンス公募の条件やレジデンス・アーティストへの依頼事項にしていることはありますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 成果発表
☐ 2. オープンスタジオ、公開制作、公開練習
☐ 3. 地域との交流活動
☐ 4. その他（具体的に）

- ☐ 5. 特に公募の条件にしたり、依頼していることはない

Q20. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の自主事業等について伺います。

(1) 貴施設における自主事業(公演・展覧会や教育普及、支援活動等)の担い手は次のいずれに該当しますか。

(○はひとつだけ)

- ☐ 1. 施設の管理運営者が自主事業も担っている ☐ 3. 自主事業は実施していない
- ☐ 2. 施設の管理運営者とは別(*)

「練習場・創作工房」に関する質問は終了です。40頁へお進みください。

↓

SQ1. 事業の担い手は次のいずれですか。

- ☐ 1. 設置主体
- ☐ 2. 1以外 [名称]

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。
施設の管理運営者が事業も担っている場合、Q18の(1)または(2)にご記入の事業費で実施したものについておこたえください。
自主事業には、設置主体からの事業補助金により、指定管理者である文化財団等の本部が実施したものを含みます。

(2) 貴施設では、2023年度に自主事業(貴施設の主催事業)、または設置主体からの受託事業を実施しましたか。

- ☐ 1. 実施した ☐ 2. 実施していない → 「練習場・創作工房」に関する質問は終了です。40頁へお進みください。

↓

SQ1. 自主事業等の件数

2023年度に実施した自主事業および受託事業の合計件数を、ジャンル別にお知らせください。

1. 演劇 ダンス・舞踊	2. 音楽	3. 美術	4. その他	合計
件	件	件	件	件

※ 不明の場合は無記入のままにしてください

(3) アマチュア活動支援事業

貴施設では、2023年度に自主事業としてアマチュア活動支援事業(*)を実施しましたか。

* 技術指導など、練習場・創作工房を活用するアマチュアのスキルアップを図る事業のこと。

- ☐ 1. 実施した [] 件
- ☐ 2. 実施していない

(4) 特徴ある自主事業

貴施設で2023年度に実施した事業のうち、特徴あるものがあればお知らせください。

●特徴ある事業〈A〉

事業名	実施時期
内容	

●特徴ある事業〈B〉

事業名	実施時期
内容	

「練習場・創作工房」に関する質問は終了です。40頁にお進みください。

5. 共通設問

施設内容にかかわらず、
本調査対象施設の管理運営者全員にご記入いただきます。

Q21. 貴施設で実施しているデジタル化、IT化対応をおこなってください。（あてはまるものすべて）

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. インターネット経由での映像コンテンツ上映が可能な上映設備の整備 | ☐ 8. X(旧twitter)の活用 |
| ☐ 2. 事業などの映像配信が可能な撮影・配信設備の整備 | ☐ 9. Facebookの活用 |
| ☐ 3. 構内WiFi環境の整備 | ☐ 10. Instagramの活用 |
| ☐ 4. チケットのオンライン販売 | ☐ 11. LINEの活用 |
| ☐ 5. 施設内でのチケット、グッズ、飲食などのキャッシュレス決済 | ☐ 12. YouTubeの活用 |
| ☐ 6. 施設貸出のオンライン予約 | ☐ 13. その他(具体的に) |
| ☐ 7. 施設貸出料のオンライン決済 | <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div> |
| | ☐ 14. デジタル化、IT化対応は行っていない |

Q22. 貴施設における職員の研修について伺います。

(1) 貴施設で行っている職員研修(外部研修の受講含む)の内容を教えてください。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 事業の企画・実施能力向上のための研修
- ☐ 2. 舞台技術、展示技術など技術面での研修
- ☐ 3. 施設運営全般やアートマネジメントについての研修
- ☐ 4. アウトリーチ、ワークショップ、レクチャーなど教育啓発活動についての研修
- ☐ 5. 障害者に向けた施設運営や事業実施についての研修
- ☐ 6. 障害者差別禁止法や障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法についての研修
- ☐ 7. ハラスメント防止についての研修
- ☐ 8. その他(具体的に)

- ☐ 9. 職員向けの研修（外部研修の受講含む）は行っていない

(2) 貴施設で行っている職員研修(外部研修の受講含む)の形態を教えてください。（あてはまるものすべて）

- ☐ 1. 自施設での研修（指定管理者の組織内研修を含む）
- ☐ 2. 地域創造が主催する研修の受講
- ☐ 3. 全国公立文化施設協会、公共芸術舞台技術者連絡会、日本博物館協会、全国美術館会議などの業界団体が主催する研修の受講
- ☐ 4. 自治体が主催する研修の受講
- ☐ 5. 他の公立文化施設が主催する研修の受講
- ☐ 6. 大学等の教育・研究機関が主催する研修の受講
- ☐ 7. 財団、NPO等の民間の非営利団体が主催する研修の受講
- ☐ 8. その他(具体的に)

Q23. 貴施設における障害者に関わる取り組みについて伺います。

(1) 貴施設で実施している障害者の文化芸術活動促進のための取り組み内容をおこたえください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 障害者の活動発表機会の提供
- ☐ 2. 障害者の表現に触れる機会の提供
- ☐ 3. 障害者の創造活動支援
- ☐ 4. 障害者が施設を利用するための環境整備
- ☐ 5. 障害者が公演・展覧会を鑑賞するための支援
- ☐ 6. 障害者団体等との連携・協力
- ☐ 7. 障害者福祉の専門家・支援団体との連携・協力
- ☐ 8. 設置団体の福祉関連部署との連携
- ☐ 9. 障害者の雇用、スタッフとしての起用
- ☐ 10. 特別支援学校・学級・福祉施設へのアウトリーチの実施
- ☐ 11. その他(具体的に)



下記のSQ1におこたえください。

- ☐ 12. 障害者の文化芸術活動支援の取り組みは行っていない

(選択肢1～5に回答の方へ)

SQ1. 次の中で、実施しているものはありますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 障害者が施設を利用する前に知りたい情報のホームページでの発信(情報保障)
- ☐ 2. 鑑賞サポート付き公演(手話、音声ガイド、字幕など)
- ☐ 3. 鑑賞サポート付き展示会(手話ガイド、点字解説、音声ガイド、車椅子視線への対応など)
- ☐ 4. 貸出用車イスの準備
- ☐ 5. スロープ、展示誘導ブロック、車イス動線の確認などのバリアフリー対策
- ☐ 6. 施設内表示の整備(展示、触絵図、色覚障害者向け色使い実施など)
- ☐ 7. 多機能トイレの整備
- ☐ 8. 聴覚障害者向けの磁気誘導ループ(ヒアリングループ)の設置
- ☐ 9. 障害のあるアーティスト、スタッフのためのバックヤード、楽屋などの整備(車椅子動線、多目的トイレ設置など)

Q24. 貴施設における事業評価、サービス評価について伺います。

(1) 貴施設では、事業・サービス改善のための評価を行っていますか。

☐ 1. 行っている

☐ 2. 行っていない → Q25にお進みください。



SQ1. 次の中で、実施しているものはありますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 管理運営者による自己評価
- ☐ 2. 設置主体による評価
- ☐ 3. 第三者による外部評価
- ☐ 4. 入場者数、施設利用率などの推移の分析
- ☐ 5. 来場者によるアンケート評価
- ☐ 6. 非来館者への意識調査（設置団体の住民意識調査の活用含む）
- ☐ 7. 来場者へのヒアリング、インタビュー調査
- ☐ 8. 利用アーティスト、取引先などへのヒアリング調査
- ☐ 9. その他(具体的に)

(2) 事業・サービス改善のための評価が役に立っていると思われるものはありますか。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 評価のプロセスを通じて職員の意識改革をはかることができた
- ☐ 2. 利用ニーズの把握や掘り起こしができた
- ☐ 3. 設置主体との関係が改善した
- ☐ 4. 市民（利用者）との関係が改善した
- ☐ 5. 対外的に説明できる客観的な資料ができた
- ☐ 6. 課題が明らかになった
- ☐ 7. 目標設定が可能になった
- ☐ 8. 成果がアピールできるようになった
- ☐ 9. 事業の拡大、予算の確保に繋がった
- ☐ 10. その他(具体的に)

(3) 事業・サービス改善のための評価における課題として該当するものを選んでください。(あてはまるものすべて)

- ☐ 1. 手間がかかりすぎる
- ☐ 2. 指定管理期間があるため、中長期的な視点にならない
- ☐ 3. 設置主体から求められる評価が入場者数や売上等の定量指標に偏っている
- ☐ 4. アウトリーチ等の非営利事業の定性評価の方法がない
- ☐ 5. 指定管理期間があるため、設置主体との相互理解が深まらない
- ☐ 6. 第三者委員会の人材が限られている
- ☐ 7. その他(具体的に)

Q25. 貴施設では、2013年の建築物の耐震改修の促進に関する法律等の改正以降、耐震診断の実施^(*)と耐震化の実施をしていますか。（○はひとつだけ）

*2014年施行の建築基準法施行令改正に伴う天井脱落対策およびエレベーター等の脱落防止対策を含む。

- ☐ 1. 耐震診断を実施し、耐震性が確認されている
- ☐ 2. 耐震診断を実施し、基準に合わない部分が発見されたため、その後改修工事を行い、補強した
- ☐ 3. 耐震診断を実施し、基準に合わない部分が発見されたため、現在、耐震工事を実施もしくは計画中である
- ☐ 4. 耐震診断を実施し、基準に合わない部分が発見されているが、まだ耐震工事の具体計画が立てられていない
- ☐ 5. 建築物の耐震改修の促進に関する法律等の改正に対応した耐震診断ができていない
- ☐ 6. 当施設は、建築物の耐震改修の促進に関する法律で耐震診断が必要な施設に指定されていない

Q26. 現在、運営している施設について、どのような課題があるかお聞かせください。

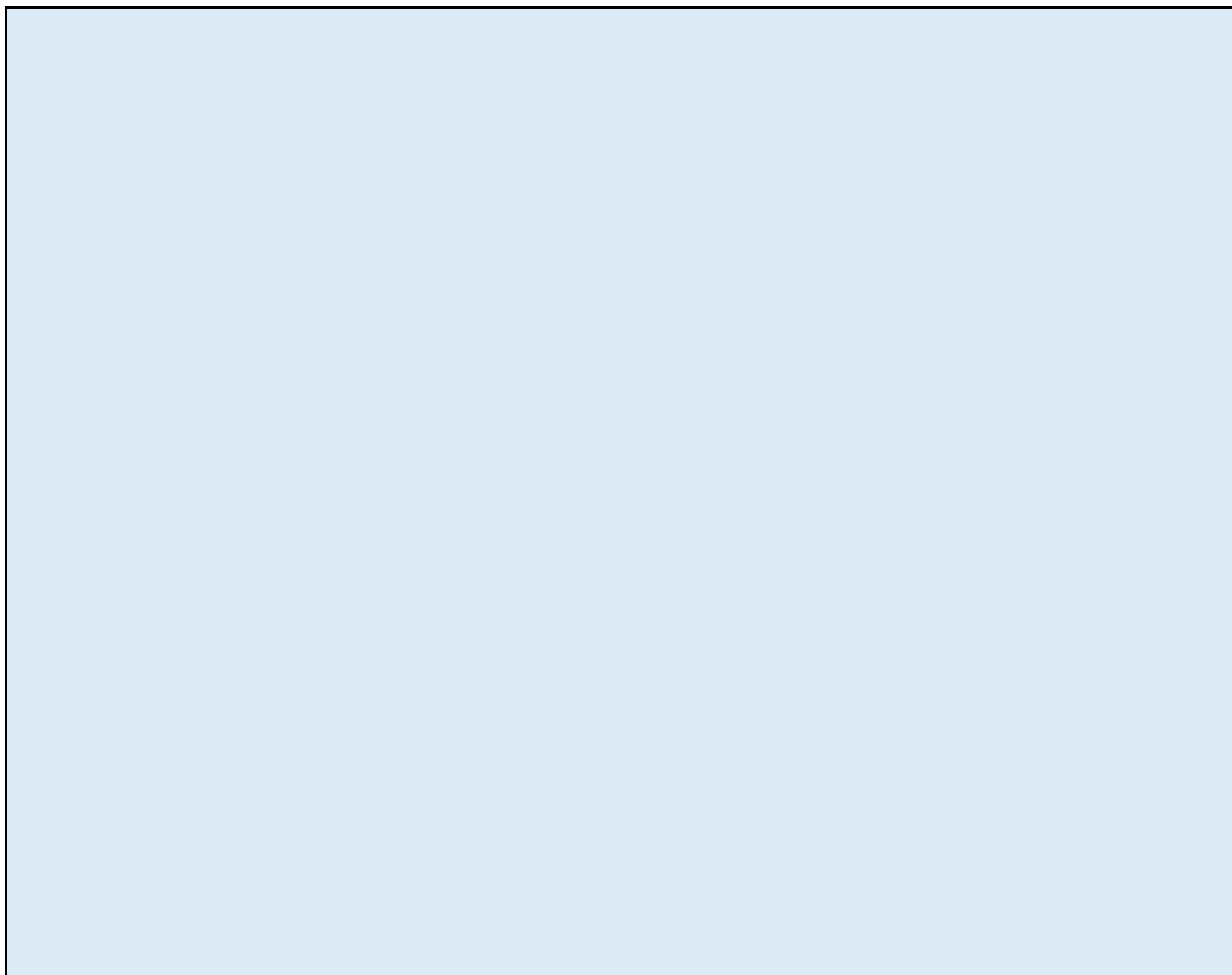
（あてはまるものすべて）

- | | |
|---|--|
| ☐ 1. 事業を行う予算が不足している | ☐ 14. 地域の教育施設との連携に苦労している |
| ☐ 2. 事業担当の人員が不足している | ☐ 15. 地域の団体・企業などとの事業協力が進められていない |
| ☐ 3. 施設運営を行う予算が不足している | ☐ 16. 設備の補修・更新の予算が不足している |
| ☐ 4. 施設運営の人員が不足している | ☐ 17. 建物の老朽化が進んでいるが、大規模修繕や立て直しの見通しが立っていない |
| ☐ 5. 職員の研修機会が不足している | ☐ 18. 補助金・助成金・寄附金・協賛金など設置団体以外からの財源確保が進んでいない |
| ☐ 6. 事業企画に必要なアーティストの情報やコネクションが不足している | ☐ 19. 障害者など施設へのアクセスが難しい人への対応がうまく進んでいない |
| ☐ 7. 他の公立文化施設との交流機会が不足している | ☐ 20. ハラスメントへの対応がうまく進んでいない |
| ☐ 8. IT化への対応が遅れている | ☐ 21. 働き方改革への対応に苦慮している |
| ☐ 9. 事業への集客に苦労している | ☐ 22. 所管課の当該施設や当該施設の事業への理解が進んでいない |
| ☐ 10. 広報がうまくできていない | ☐ 23. 施設運営の基本計画や成果指標づくりなどのマネジメントに苦労している |
| ☐ 11. 地域住民との連携に苦労している | |
| ☐ 12. 地域の文化団体や地域在住アーティストとの連携に苦労している | |
| ☐ 13. 地域在住アーティストの育成・研修に苦労している | |
| ☐ 24. その他(具体的に) | |

- ☐ 25. 特に課題となっていることはない

Q27. ご意見やご要望についてお聞かせください。

地域創造へのご意見やご要望等ありましたらお書きください。



これで本調査における回答項目は終了です。ご協力ありがとうございました。